

静岡県東部地域企業経営動向調査

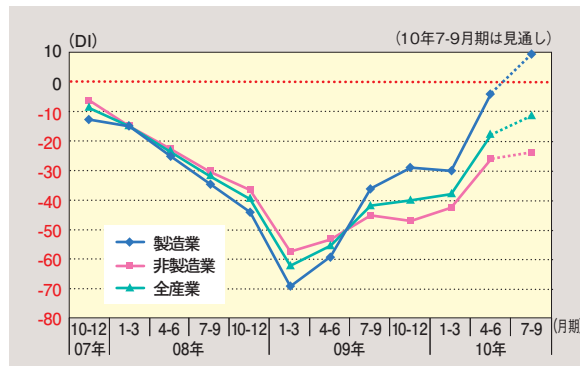
(2010年4-6月期実績、2010年7-9月期見通し)

1 業況概要 (自社)

DIは大幅に上昇、特に製造業で著しい改善

静岡県東部地域における2010年4-6月期の業況判断DI(対前年同期比)は全産業で-17.9(前期-38.1)と大幅に上昇した。うち、製造業の業況判断DIは-3.8(同-30.2)と改善が著しく、売上や利益の回復を背景に上向き感を強めている。一方、非製造業でも-26.1(同-42.7)とDIの上昇が続いているが、製造業と比較すると回復は遅れる傾向がみられる。

2010年7-9月期の予想DIは全産業で-11.5と引続き上昇を見込んでいる。特に製造業では9.4とプラスに転じる予想となっており、先行きへの期待感が一層明確に現れてきている。



業種別天気図



(10年7-9月期は見通し)

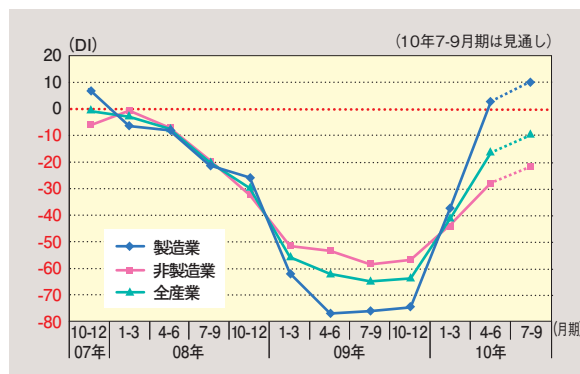
	製造業	食料品	紙・パルプ・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2010年1-3月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
2010年4-6月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
2010年7-9月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔

2 売上動向

前期に続き大幅に改善、製造業では2007年10-12月期以来のプラスに

2010年4-6月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-16.5(前期-41.0)と前期に続き大幅に上昇した。特に製造業では金属製品やその他製造業を筆頭に全業種で大幅に改善され、DIは2.8(同-36.8)と2007年10-12月期以来のプラスに転じている。一方、非製造業でも旅館・その他宿泊所やその他小売・サービス業をはじめ全業種でDIが上昇し、全体DIは-27.9(同-43.5)となっている。

2010年7-9月期(見通し)の予想DIは、全産業で-9.8と引続き上昇を見込んでいる。特に製造業では10.4となり、売上の下げ止まりから上昇・改善に向けた期待感がさらに強まっている。また、非製造業でも-21.7と引続き上昇を見込んでいる。

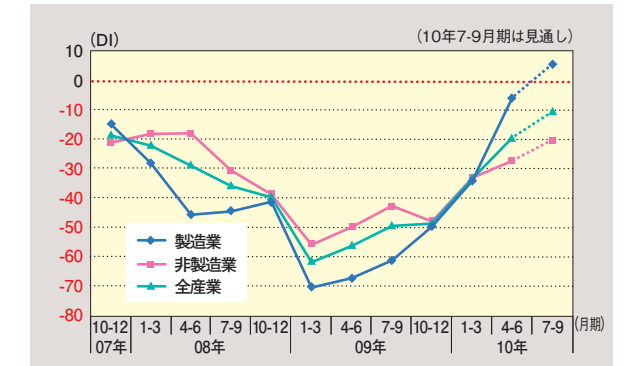


3 利益動向

製造業でDIが大幅に上昇、非製造業でも改善が続く

2010年4-6月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-19.3(前期-33.3)で、連続して上昇となった。うち、製造業はパルプ・紙・紙加工品でDIがやや低下したが、他の業種でDIが上昇したため、全体DIは-5.7(同-34.0)と大幅に上昇した。一方、非製造業では建設業でDIが悪化した。卸・小売・サービス業ではDIが上昇し、全体DIは-27.2(同-33.0)と改善が続いている。

2010年7-9月期(見通し)の予想DIは、全産業で-10.5と今期比上昇しており、改善基調の持続が見込まれている。特に製造業では予想DIが5.7とプラスに転じ、本格的な回復に向けた期待感が強まっている。



4 経営上の問題点

「原材料・仕入れ商品の値上がり」の指摘が大幅に増加

上位項目は前期と変わらないが、「受注・売上の停滞・減少」(68.9%)の比率は低下、「過当競争・製品安」(51.7%)の比率は上昇がそれぞれ続いている。一方、原材料価格の上昇傾向を背景に「原材料・仕入商品

の値上がり」の指摘が28.7%(前期14.4%)と大幅に増加した。特に製造業では全回答企業の51.9%に達するなど大きな課題となりつつあり、今後の業況判断への影響が懸念される。

(社、%)

	09年10-12月期		10年1-3月期		10年4-6月期		順位変動
	企業数	比率	企業数	比率	企業数	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	206	78.0	214	73.5	197	68.9	→
2. 過当競争・製品安	129	48.9	147	50.5	148	51.7	→
3. 人材の育成	87	33.0	97	33.3	95	33.2	→
4. 原材料・仕入れ商品の値上がり	36	13.6	42	14.4	82	28.7	↑
5. 生産・販売能力の不足	50	18.9	73	25.1	59	20.6	↓
5. 従業員の高齢化	52	19.7	58	19.9	59	20.6	→
7. その他経費の増加	25	9.5	36	12.4	44	15.4	↑
8. 人件費の増加	44	16.7	40	13.7	33	11.5	↓

※この他、今回は「従業員数・設備投資動向」についても特別調査を実施しております。調査結果は弊所ホームページをご参照下さい。

調査の概要

1. 調査目的/静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業/静岡県東部地域に立地する企業1,050社 回答数286(回答率27.2%)
3. 調査方法/当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間/実績:2010年4-6月期 見通し:2010年7-9月期
5. 調査時点/2010年5~6月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇/増加/好転」した企業割合から「下降/減少/悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標